

ペア入れ替え式ロールプレイ会話：場面1「文句談話」

著者	三井 はるみ
雑誌名	方言談話の地域差と世代差に関する研究 成果報告書
ページ	11-23
発行年	2014-03-31
シリーズ	国立国語研究所共同研究報告 ； 13-04
URL	http://doi.org/10.15084/00002753

ペア入れ替え式ロールプレイ会話：場面1「文句談話」

三井 はるみ
(国立国語研究所)

1. 場面設定

ペア入れ替え式ロールプレイ会話調査の場面1「文句談話」の場面設定は以下のものである。

場面設定（場面1・高年層）

〔A（電話のかけ手）への指示〕自治会（職場・親睦グループ等）の集まりがあり、メンバーが集合場所に集まっています。ところが、集合時間を30分過ぎてもBさんが来ません。Bさんに電話をかけて文句を言ってください。Bさんの言い分を聞いた上で、来るように促してください。

〔B（電話のかけ手）への指示〕自治会（職場・親睦グループ等）の集まりに出席する予定だったのですが、集合時間を30分過ぎてしまいました。すでに集合場所にいるAさんから電話がかかってくるので、言い訳をしてください。Aさんに来るように促されたら了解してください。

若年層では、「自治会（職場・親睦グループ等）の集まり」を「ゼミ（サークル・親睦グループ等）の集まり」とした。

調査場面では、「A：文句を言う — B：言い分を述べる — A：来るように促す — B：了解する」という流れが設定されている。全体を「文句」の談話と位置づけているが、後段の「来るように促す — 了解する」は、内容的に「依頼」の性格を持っている。実際、今回対象とした首都圏男性高年層・若年層各1組の談話では、いずれも談話の後半に、「来てください」（sht_hm01-1 0070、sht_lm02-1 0024）、「来て」（sht_lm02-1 0022）という依頼形による直接的な行為の促し表現が現れている。

2. 首都圏男性ペアの文句談話の分析

2. 1. 談話構造

首都圏男性ペアの「文句」場面の談話構造を整理すると、次のようになる。

表1 文句談話（場面1）の構造

		高年層ペア	若年層ペア
開始部		0001-0003 相手確認	0001-0002 相手確認
主要部	事態共有のための談話	0003 用件確認（B） 0004-0010 現状の提示と事情説明の要求（A） 0011-0013 細部の確認（B）と情報付加（A） 0013-0021 違約への気づきと困惑の表明（B） 0022-0052 補足情報（不都合）の提示（A） 0022-0039 補足情報（不都合）の提示（A） 0040 リカバー行動の要請（A） 0041-0051 細部の確認（B）と情報付加（A） 0052 補足情報（不都合）の提示（A） 0053 謝罪（B）	0002 現状の提示と事情説明の要求（A） 0003-0010 言い訳（B） 0003-0004 遅刻の理由 0005-0010 到着見込み 0010-0015 リカバー情報（到着見込み）の要求（A）と提示（B） 0016-0018 非難（A） 0018-0019 補足情報（不都合）の提示（A）
	事態修復のための談話	0054-0059 リカバー行動の要請（A）と了承（B） 0059-0067 状況修復のための調整（A・B） 0059-0062 リカバー情報（到着見込み）の提示（B） 0063-0064 フォローの要請（B）と了承（A） 0064-0067 念押しと了承（A・B） 0064-0073 念押し（A）と了承（B）の反復	0020-0021 フォローの請負（A） 0022-0023 リカバー行動の要請（A）と了承（B） 0023-0024 謝罪（B） 0024-0027 念押し（A）と了承（B）の反復
終了部		———	0028-0029 再会の予告

高年層ペアの「0022-0052 補足情報（不都合）の提示（A）」と「0059-0067 状況修復のための調整」には下位構造が見いだせる。後者は内容的には、「0059-0062 リカバー情報（到着見込み）の提示（B）」が、若年層ペアの「0010-0015 リカバー情報（到着見込み）の要求（A）と提示（B）」と、「0063-0064 フォローの要請（B）と了承（A）」が、若年層ペアの「0020-0021 フォローの請負（A）」と共通するものである。若年層ペアでは、「0003-0010 言い訳（B）」に下位構造が見いだせる。

文句談話の主要部は、「Bの遅刻」をめぐる、概ね、「Ⅰ 事態共有のための談話」から、「Ⅱ 非難・謝罪」という転換点を経て、「Ⅲ 事態修復のための談話」へという展開を見ている。ただし、高年層ペアではこの順序で談話が展開しているのに対し、若年層ペアでは入り組んでおり、一貫してこの順序で展開しているわけではない。表1では、若年層ペアについては、「Ⅰ 事態共有のための談話」が収束したと見た位置に、点線で区切りを表示した。

「Ⅰ 事態共有のための談話」は、Aによる「①現状の提示」と「②事情説明の要求」、それに対するBの「③言い分」（高年層では「違約への気づきと困惑の表明」、若年層では「言い訳」）、さらに、Aによる補足情報としての「④現在具体的に生じている不都合の提示」が、この順序で現れる。

「Ⅲ 事態修復のための談話」は、修復の手立てとして、AからBへの「⑤リカバー行動（＝来ること）の要請」、その補足情報としてのBによる「⑥到着見込みの提示」、そして

Aによって提示された「④現在具体的に生じている不都合」に対する当座の「⑦フォローの要請・請負」を含む。これらが、高年層ペアでは⑤⑥⑦の順で、若年層では⑥⑦⑤の順で現れる。若年層の⑥は、「事態共有のための談話」の一部として現れる。「⑥到着見込み」は「共有されるべき事態」とも「事態修復に関係する情報」とも位置付けられ得るということかもしれない。

「Ⅱ 非難・謝罪」の「⑧非難」「⑨謝罪」は、基本的には事態が共有された上で発動される行為であるため、「Ⅰ 事態共有のための談話」の後に現れ、また「⑧非難」「⑨謝罪」（特に謝罪）は事態が共有されたシグナルともなるため、続いて「Ⅲ 事態修復のための談話」に移行しうると考えられる。ただし若年層ペアでは、必ずしも「非難」「謝罪」が「Ⅰ 事態共有のための談話」と「Ⅱ 事態修復のための談話」のはっきりとした転換点となっているわけではない。また、「文句」行為の中核的表現は「⑧非難」であると考えられるが、高年層ペアでは、明らかな「⑧非難」の表現は取られていない。

上記①～⑨のうち、「③言い分」と「⑤リカバー行動（＝来ること）の要請」は調査シナリオに直接対応する要素である。一方他の要素、とりわけ、「④現在具体的に生じている不都合の提示」と、それに対する「⑦フォローの要請・請負」は、シナリオに直接対応していないが、高年層ペア、若年層ペアともに現れている。「文句」の談話を構成する要素として注目される。

2. 2. 「文句」の機能的要素

「文句」談話の主要部のAの発話に現れる、「文句」の機能を持つ要素を抽出した。

ただし、主に談話の後半に現れる〈行動の促し〉、《不都合への対処の請負》（リカバー）の中には、「文句」談話を構成する要素ではあっても、「文句」の機能を持つ発話と見るべ

表2 「文句」の機能的要素

	高年層ペア	若年層ペア
コミュニケーション機能	機能的要素	
状況説明	状況提示	状況提示
説明要求	事情説明の要求、リカバー情報の要求	事情説明の要求、リカバー情報の要求
補強	補足情報の提示、補足情報の確認、具体的な不都合の提示	具体的不都合の提示
非難		理由の繰り返し、理由の問い詰め、定型表現による非難
やわらげ		不都合への対処の請負
行動の促し	希望の表明、意向の確認、約束履行の念押し、依頼、丁寧な定型表現による念押し、期待表明	依頼、丁寧な依頼、丁寧な定型表現による念押し、期待表明（終了部）

きか判断に迷うものがあった。(以下、機能的要素を《 》、コミュニケーション機能を〈 〉でくくって示す。)

〈状況説明〉〈説明要求〉〈補強〉〈行動の促し〉は、高年層、若年層ともに現れる。このうち〈行動の促し〉は、シナリオに沿うものであるが、そうでなくても、「違約の補償要求」といった「文句」行為の一面をなすものとして現れうるのかもしれない。また、特に高年層では、《依頼》《希望の表明》《意向の確認》《約束履行の念押し》《丁寧な定型表現による念押し》《期待表明》と、様々な機能を用いて繰り返し〈行動の促し〉を行っている。このこと自体が「文句」行為と関連する特徴かもしれない。一方、「文句」の中核的機能であると考えられる〈非難〉が現れるのは若年層のみである。なお、若年層に現れる《不都合への対処の請負》(表1では「フォローの請負」)は、「文句」の機能を持つ要素と見るべきか迷ったが、もし位置づけるのであれば、対人配慮的な機能を読み取ることができるかもしれないと考え、〈やわらげ〉とした。

表3・4に、談話展開に沿って、機能的要素の具体例を示す。

表3 高年層ペア話者Aにおける「文句」の機能的要素の出現例

事 態 共 有 の た め の 談 話	<p>【現状の提示と事情説明の要求】</p> <p>0004: 今日のさ、駒大一陸上の、0006: 会議が、もう始まっちゃってんだけど 《状況提示》。</p> <p>0008: もう 30 分** 《状況提示》、0010: 今日なんかあったの 《事情説明の要求》。</p>
	<p>【補足情報（不都合）の提示】</p> <p>0022: 今日ね、0024: 隣にね、0026: Z さんって人 《具体的な不都合の提示（未完）》、0028: わかる↑ 《補足情報の確認》。</p> <p>0036: そ、その人がね、0038: どうしても会いたってゆうんで 《具体的な不都合の提示》、0040: 早く来てくれると嬉しいんだけどね 〈行動の促し〉《希望の表明》。</p> <p>0052: と、とにかく席が隣なの 《具体的な不都合の提示》。</p>
事 態 修 復 の た め の 談 話	<p>【リカバー行動の要請と了承】</p> <p>0054: だから早く来てくれると、0056: 嬉しいんだけどねー 〈行動の促し〉《希望の表明》。こ、</p> <p>0058: 大丈夫↑ 〈行動の促し〉《意向の確認》。</p>
	<p>【状況修復のための調整】</p> <p>0060: あーそう。何分ぐらいかかりそう 《リカバー情報の要求》。</p> <p>0064: はい、はい。じゃあ 7 時頃までには来られそうですね 〈行動の促し〉《約束履行の念押し》。</p>
	<p>【念押しと了承の反復】</p> <p>0068: じゃ、待ってるので 〈行動の促し〉《期待表明》。</p> <p>0070: はい、ぜひ。はい、はい。来てください 〈行動の促し〉《依頼》。</p> <p>0072: お願いいたしまーす 〈行動の促し〉《丁寧な定型表現による念押し》。</p>

表4 若年層ペア話者Aにおける「文句」の機能的要素の出現例

事態共有のための談話	<p>【現状の提示と事情説明の要求】</p> <p>0002:もしもし。あの、今日のさ、ゼミ、あの、もう時間始まってんだけど《状況提示》、どうなってるの《事情説明の要求》。</p>
	<p>【言い訳】</p> <p>(0003B:いや、ちょっと寝坊しちゃってさ。) 0004A:寝坊《非難》《理由の繰り返し》。</p>
	<p>【リカバー情報（到着見込み）の要求と提示】</p> <p>0010:うん、今はさ、あの、もう支度できてんの《リカバー情報の要求》。こっち向かってる↑《リカバー情報の要求》。</p>
	<p>【非難】～【補足情報（不都合）の提示】</p> <p>0016:なに、きゅー、寝坊↑《非難》《理由の問い詰め》。</p> <p>0018: {笑} マジ、頼むよ《非難》《定型表現による非難》。結構先生も怒ってるからさ《具体的な不都合の提示》。</p>
事態修復のための談話	<p>【フォローの請負】</p> <p>0020:あーん、じゃあ、こっちで、あの一、あの、先生には、あの、いろいろ、なんか体調悪いみたいなこと言っとくから《不都合への対処の提示》。</p>
	<p>【リカバー行動の要請と了承】</p> <p>0022:あの一、急いで来て《行動の促し》《依頼》。あの一、できるだけ、ほんと急いで来て《行動の促し》《依頼》。</p>
	<p>【念押しと了承の反復】</p> <p>0024:うん。じゃあ、こっちでなんとかやるから《不都合への対処の提示》。あの一、そうゆう、ま、急いで来てください《行動の促し》《丁寧な依頼》。よろしくお願いします《行動の促し》《丁寧な定型表現による念押し》。</p> <p>0026:うん、じゃあ、こっちでやとくね《不都合への対処の提示》。</p>

文句談話の主要部は、高年層、若年層とも、《状況提示》《事情説明の要求》から始まる。

高年層では続いて「Bに会いたがっている人がいる」という《具体的な不都合の提示》が行われる。Aは話題の人物について「わかる↑」(0028)と《補足情報の確認》をはさみつつ説明し、0040で1回目の《希望の表明》による控えめな《行動の促し》を行う。しかしこれに対してBがさらなる細部の確認を行ったためAから付加情報が提供され、Aは0052で再度《具体的な不都合の提示》を行う。ここでBが「悪いね。」(0053)と謝罪を述べ、「事態修復のための談話」に移行する。0054であらためて《希望の表明》による《行動の促し》を行い、Bが了承したのを受けて、「大丈夫↑」(0058)と《意向の確認》をする。「何分ぐらいかかりそう」(0060)と《リカバー情報の要求》をし、回答を得た後は、《約束履行の念押し》《期待表明》《依頼》《丁寧な定型表現による念押し》と様々な機能を用い

て、最後までたたみかけるように〈行動の促し〉を行っている。

若年層では、高年層には現れない〈非難〉の機能が用いられている。Bの「言い訳」の間にも、それを捉えて《理由の繰り返し》による〈非難〉が現れる。Bが「言い訳」の中で「到着見込み」に触れたのを捉えて、いったん事態修復的な《リカバー情報の要求》を行うが、それが一段落すると再度、《理由の問い詰め》《定型表現による非難》による〈非難〉となる。そしてそれと連続して「先生が怒っている」という《具体的な不都合の提示》が行われる。以後の「事態修復のための談話」では、A自らによる《不都合への対処の提示》と、《依頼》による直接的な〈行動の促し〉が行われ、最後はこの二つの機能を交互に繰り返す念押しとなる。《不都合への対処の提示》の繰り返しは、前段の「事態共有のための談話」の中で繰り返された〈非難〉を中心とする「文句」行為に対する〈やわらげ〉の効果があると考えられるだろうか。

3. まとめ

以上、首都圏男性ペア高年層・若年層各1組の「文句」談話を分析した。現時点でうかがわれた2ペアの共通点と相違点は以下のとおりである。

談話構造に関しては、共通点が目立った。「Ⅰ 事態共有のための談話」から「Ⅱ 非難・謝罪」という転換点を経て、「Ⅲ 事態修復のための談話」へという展開を見せる。Ⅰには「①現状の提示」、「②事情説明の要求」、「③遅刻の言い分」、「④現在具体的に生じている不都合の提示」を含み、Ⅲには「⑤リカバー行動（＝来ること）の要請」、「⑥到着見込みの提示」、「⑦フォローの要請・請負」を含む。このうち、③、⑤は、調査シナリオに直接対応する要素であるが、それ以外はシナリオに明示されていない。特に④、⑦は、やや発展的な情報の付加であり、今後分析する他の談話にどのくらい現れるか注目される。

機能的要素（とコミュニケーション機能）に関しては、〈状況説明〉〈説明要求〉〈補強〉〈行動の促し〉が共通して見られた。一方、〈非難〉〈やわらげ〉は若年層ペアのみに見られた。〈非難〉は「文句」行為の中核的機能とみられるが、高年層には現れなかった。〈やわらげ〉が若年層のみに現れるのは、この直接的な〈非難〉に対応して、対人配慮上のバランスを取るものと見ることもできるかもしれない。また、高年層は〈行動の促し〉において、様々な機能を繰り返し用いている。「文句」行為における対人的配慮の方法に二つの異なるパターンがあるのかもしれない。

ここでの分析は試行的なものに過ぎない。今後、共同研究の中で分析の枠組みを検討しつつ、さらに他の談話の分析を進め、「文句」場面談話の共通点と相違点を見出していきたい。

参考文献

- 熊谷智子（1997）「はたらきかけのやりとりとしての会話 ―特徴の束という形でみた「発話機能」―」 茂呂雄二編『対話と知 ―談話の認知科学入門―』新曜社
- 熊谷智子・篠崎晃一（2006）「依頼場面での働きかけ方における世代差・地域差」国立国語研究所編『談話行動における「配慮」の諸相』くろしお出版

ペア入れ替え式ロールプレイ会話：場面1「文句談話」

(1) 首都圏高年層男性ペア

【開始部】

相手確認	0001	B	もしもーし。	注目要求
	0002-1	A	あ、	注目表示
	0002-2	A	A（名）でー／／す。	陳述・表出
	0003-1	B	おーおー、うん、	注目表示

【主要部】

確認用件	0003-2	B	どうした。	情報要求
現状の提示と事情説明の要求	0004	A	今日のさ、駒大一陸上の、	陳述・表出（1/2）
	0005	B	うん。	注目表示
	0006	A	会議が、もう始まっちゃってんだけど。	陳述・表出（2/2）
	0007	B	うん。	注目表示
	0008	A	もう30分**、	陳述・表出
	0009	B	／／え。	注目表示
	0010	A	今日なんかあったの。	情報要求
細部の確認と情報付加	0011-1	B	ん、今日何時からだったっけ。	情報要求
	0011-2	B	俺、	陳述・表出（未完）
	0012	A	6時。	陳述・表出
	0013-1	B	6時か。	注目表示
違約への気づきと困惑の表明	0013-2	B	もう／／6時過ぎてんな。	注目表示
	0014	A	うん。	注目表示
	0015-1	B	まいったなー。	陳述・表出
	0015-2	B	俺、ちょっとさ、	陳述・表出（未完）
	0016	A	もう、	陳述・表出（1/2）
	0017	B	今、ん、あ、もう始まってんのかよ。	情報要求
	0018-1	A	始まって、	陳述・表出（2/2）
	0018-2	A	／／はじま、もうねー、えー、	陳述・表出（未完）
	0019-1	B	あらららら。	注目表示
	0019-2	B	うん。	注目表示
	0020	A	開式の言葉が／／終わったし。	陳述・表出
	0021	B	うん、うん。	注目表示

補足情報（不都合）の提示	補足情報（不都合）の提示	0022	A	で、今日ね、	陳述・表出（1/3）
		0023	B	／／うん。	注目表示
		0024	A	隣にね、	陳述・表出（2/3）
		0025	B	うん。	注目表示
		0026	A	Zさんって／／人、	陳述・表出（3/3 未完） 《具体的な不都合の提示》、情報要求（1/2）
		0027	B	うん。	注目表示
		0028	A	わかる↑。	情報要求（2/2） 《補足情報の確認》
		0029-1	B	知らない。知らないな。	陳述・表出
		0029-2	B	誰、Zさんって。	情報要求
		0030	A	声かけられたんだ／／けど。	陳述・表出《具体的な不都合の提示》
		0031	B	うん。	注目表示
		0032	A	まちがえてね。	陳述・表出《具体的な不都合の提示》
		0033	B	うん。	注目表示
		0034	A	駒高の生徒さんだった／／人みたい。	陳述・表出
		0035-1	B	へー、	注目表示
		0035-2	B	知らないな。	陳述・表出
		0035-3	B	ん、えっ、	注目表示
		0035-4	B	それ、誰、／／何歳ぐらいの人。	情報要求
		0036	A	そ、その人がね、	陳述・表出（1/3）
		0037	B	うん。	注目表示
		0038	A	どうしても会いたってゆうんで、	陳述・表出（2/3）《具体的な不都合の提
		0039	B	うん。	注目表示
	リカバリー行動の要請	0040	A	早く来てくれると嬉しいんだ／／どね。	陳述・表出（3/3）《行動の促し》《希望の表明》
	細部の確認と情報付加	0041-1	B	あ、ほんと。	注目表示
		0041-2	B	おー、なに、駒大高の↑。	情報要求
		0041-3	B	なん、いくつぐらいの人だい。	情報要求
		0042	A	んーとね、年がね、	陳述・表出（未完）
		0043	B	うん。	注目表示
		0044	A	56歳って／／聞いた。	陳述・表出
		0045-1	B	56か。	注目表示

		0045-2	B	56／／ってゆうと、	情報要求 (1/2)
		0046	A	うん。	注目表示
		0047-1	B	56 ってゆうと、誰の年と同じ年くらいかな。	情報要求 (2/2)
		0047-2	B	僕が駒大高いた頃のあれだから、みると、だいたい第1期の連中がもう 60 過ぎてるからなー。	陳述・表出
		0047-3	B	へー、どんな人。	情報要求
		0047-4	B	なんか仕事やってた。	情報要求
		0048	A	えっとね、	注目表示
		0049	B	うん。	注目表示
		0050	A	うーんと、細面の人なんだ／／けどもね。	陳述・表出
		0051	B	うん、うん。	注目表示
	補足情報提示(不都合)	0052	A	と、とにかく席が隣なの。	陳述・表出《具体的な不都合の提示》
謝罪		0053-1	B	／／あ、ほんと。	注目表示
		0053-2	B	うわ、	注目表示
		0053-3	B	悪いね。	関係づくり、儀礼
リカバー行動の要請と了承		0054	A	だから早く来て／／くれると、	陳述・表出 (未完)
		0055	B	うん。	注目表示
		0056	A	嬉しいんだけど／／もねー。こ、	陳述・表出《行動の促し》《希望の表明》
		0057-1	B	あ、	注目表示
		0057-2	B	わかったわかったわかった。わかった。	陳述・表出
		0057-3	B	うん。	注目表示
		0058	A	大丈夫↑。	情報要求《行動の促し》《意向の確認》
		0059-1	B	うん、うん。	陳述・表出
状況修復のための調整	リカバー情報(到着見込み)の提示	0059-2	B	これからすぐ、さー、支度して行くけどさー。	陳述・表出
		0059-3	B	／／タクシー、うまく、ん、タクシ、	陳述・表出 (未完)
		0060-1	A	あーそう。	注目表示
		0060-2	A	何分ぐらいかかり／／そう。	情報要求《リカバー情報の要求》
		0061-1	B	うーん、タクシーうまく止めればいいんだけど、	陳述・表出
		0061-2	B	うーん、駅までやっぱ 10 分、20 分、まあ、25 分くらいかかるかもしれないなー。	陳述・表出
		0062	A	／／うん、うん、うん。	注目表示

	フ ォ ロ ー と 了 解 の 要 請	0063-1	B	ちょっと待た、待たせといてよ。	行為要求
		0063-2	B	うん。	注目表示
		0063-3	B	必ず行く／／から。	陳述・表出
		0064-1	A	はい、はい。	注目表示
	念 押 し と 了 承	0064-2	A	じゃあ7時頃までには／／来られそうですね。	情報要求〈行動の促し〉《約束履行の念押し》
		0065-1	B	うん、	注目表示
		0065-2	B	行く行く行く行く行く。	陳述・表出
		0065-3	B	うん、	注目表示
		0065-4	B	行く行く行く／／行く。	陳述・表出
		0066	A	はい、わかり／／ました。	注目表示
		0067-1	B	よろしく言っと／／いてー。	行為要求
		0067-2	B	はい。	注目表示
	念 押 し と 了 承 の 反 復	0068	A	じゃ、待ってるので。	陳述・表出〈行動の促し〉《期待表明》
		0069-1	B	はいい。	注目表示
		0069-2	B	／／よろしく願いしまーす。	関係づくり、儀礼
		0070-1	A	はい、	注目表示
		0070-2	A	ぜひ、	行為要求（1/2）
		0070-3	A	はい、はい。	注目表示
		0070-4	A	／／来てください。	行為要求（2/2）〈行動の促し〉《依頼》
		0071	B	はいはい。	注目表示
		0072	A	お願いいたし／／まーす。	関係づくり、儀礼〈行動の促し〉《丁寧な定型表現による念押し》
		0073	B	行きます、行きまーす。	陳述・表出

（２）首都圏若年層男性ペア

【開始部】

確 認 相 手		0001	B	はい、もしもし。	注目表示
		0002-1	A	もしもし。	注目表示

【主要部】

現 状 の 提 示 と 事 情 説 明 の 要 求		0002-2	A	あの、今日のさ、ゼミ、あの、もう時間始まってんだけど、	陳述・表出 《状況提示》
		0002-3	A	どうなってんの。	情報要求 《事情説明の要求》
言 い 訳	遅 刻 の 理 由	0003-1	B	いや、	注目表示
		0003-2	B	ちょっと、寝坊しちゃってさ。	陳述・表出
		0004	A	寝坊。	注目表示〈非難〉《理由の繰り返し》
	到 着 見 込 み	0005	B	30分ぐらい、／／たぶん、ちょっと、	陳述・表出（1/3）
		0006	A	うん。	注目表示
		0007	B	いや、さんじ、い、んー、たぶん40分とか、	陳述・表出（2/3）
		0008	A	ん。	注目表示
		0009	B	ちょっと遅れちゃうかもしれない。	陳述・表出（3/3）
		0010-1	A	うん、	注目表示
リ カ パ ー 情 報 （ 到 着 見 込 み ） の 要 求 と 提 示		0010-2	A	今はさ、あの、もう支度できてんの。	情報要求《リカパー情報の要求》
		0010-3	A	こっち向かって／／る↑。	情報要求《リカパー情報の要求》
		0011-1	B	あー、	注目表示
		0011-2	B	もう向かってて、	陳述・表出（未完）
		0012	A	／／うん。	注目表示
		0013	B	今電車中なんだけど／／さ。	陳述・表出
		0014-1	A	うん。	注目表示
		0014-2	A	じゃあ、えー、30分、／／40分ぐらい。	情報要求
		0015-1	B	うん。	注目表示
		0015-2	B	そうそうそう。	陳述・表出
非 難		0016	A	なに、きゅー、寝坊↑。	情報要求〈非難〉《理由の問い詰め》
		0017	B	寝坊。	陳述・表出
		0018-1	A	{笑}マジ、頼むよ。	陳述・表出〈非難〉《定型表現による非難》
都 合 の 提 示	補 足 情 報 （ 不 都 合 ） の 提 示	0018-2	A	結構、先生も、結構怒ってるからさ。	陳述・表出《具体的不都合の提示》
		0019	B	うん。	注目表示
請 負	フ ォ ロ ー の	0020	A	あーん、じゃあ、こっちで、あの一、あの、先生には、あの、いろいろ、なんか体調悪いみたいなこと	陳述・表出《不都合への対処の提示》
		0021	B	うん。	注目表示

リカバ ー行動の 要請 と了承		0022-1	A	あの一、急いで来て。	行為要求〈行動の促し〉《依頼》
		0022-2	A	あの一、できるだけ、ほんと急いで／／来て。	行為要求〈行動の促し〉《依頼》
		0023-1	B	あ一、	注目表示
謝罪		0023-2	B	悪い。	関係づくり、儀礼
		0023-3	B	／／あ一。	注目表示
		0024-1	A	うん。	注目表示
念押しと 了承の反復		0024-2	A	じゃあ、こっちでなんとかやるから。	陳述・表出《不都合への対処の提示》
		0024-3	A	あの一、そうゆう、ま、急いで来てください。	行為要求〈行動の促し〉《丁寧な依頼》
		0024-4	A	よろしくお願いします。	関係づくり、儀礼〈行動の促し〉《丁寧な定型表現による依頼》
		0025-1	B	はい、	注目表示
		0025-2	B	ありがとう。	関係づくり、儀礼
		0026-1	A	うん、	注目表示
		0026-2	A	じゃあ、こっちでやっつくね。	陳述・表出《不都合への対処の提示》
		0027	B	／／はい。	注目表示

【終了部】

再会 の予告		0028	A	じゃあ、またあとで。	関係づくり、儀礼〈行動の促し〉《期待表明》
		0029	B	はい。	注目表示